

☆特別イベント☆ 移動天文車アストロカー登場

かわさき星空ウォッチング・・・アストロカーで望遠鏡を会場まで運び、惑星などを観察しながら、職員が解説を行います。



《かわさき宙と緑の科学館》

場所：川崎市多摩区柵形7-1-2

電話：044-922-4731

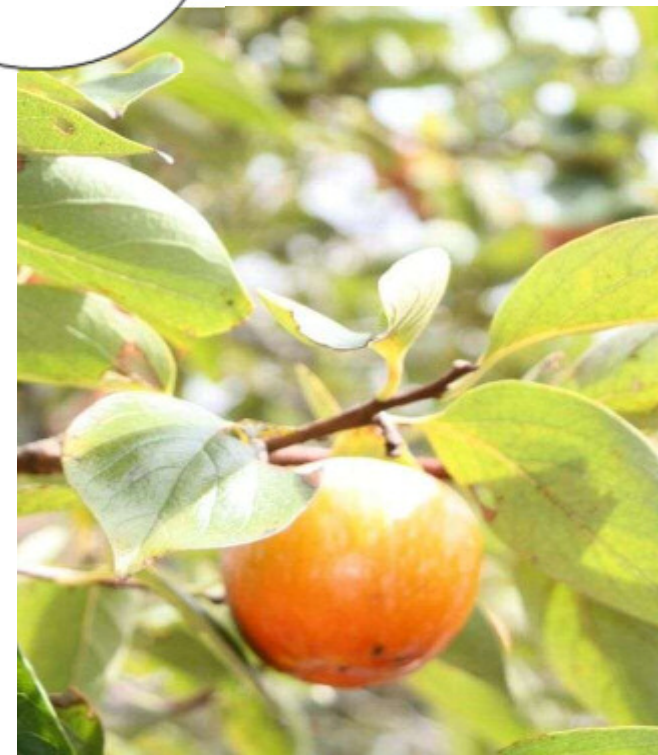
FAX：044-934-8659

<http://www.nature-kawasaki.jp/>

主催 麻生区役所・麻生観光協会・柿生禅寺丸柿保存会
協力 麻生区文化協会・JAセレサ川崎・かわさき宙と緑の科学館



禅寺丸柿の日 記念イベント



平成25年10月21日(月)
麻生区役所前広場

式次第

～禅寺丸柿の歴史～

【第1部】 14:30～15:30

総合司会 川崎純情小町☆

- | | | |
|---------------|--------------|-------|
| 1 開会の言葉 | 麻生観光協会 会長 | 笠原 勝利 |
| 2 主催者挨拶 | 麻生区長 | 多田 昭彦 |
| 3 来賓挨拶 | 禅寺丸柿の日提唱者 | 中島 豪一 |
| 4 記念日登録証の贈呈 | | |
| 5 禅寺丸柿の由来について | 柿生禅寺丸柿保存会 顧問 | 中山 茂 |
| 6 禅寺丸音頭 | 麻生区文化協会 | |
| 7 川崎純情小町☆ステージ | | |
| 8 禅寺丸柿〇×クイズ | | |
| 9 閉会の言葉 | 柿生禅寺丸柿保存会 会長 | 水野 英雄 |

【第2部】 15:30～16:30 ※雨天時中止

ミニ天文観察会 ～ 一番星「金星」と秋の星空 ～

講師:「かわさき宙と緑の科学館」学芸員 國司 真



禅寺丸柿(ぜんじまるがき)は、建保2(1214)年に王禅寺の山中で発見された日本最古の甘柿とされています。江戸、明治、大正時代を通じて、地域の人々の生活を支え、「柿生(かきお)」の地名の由来ともなり、昭和40年頃までは柿を代表する品種でしたが、新しい品種の登場や都市化が進んだことにより柿の木が減少し、市場から姿を消しました。

しかし、禅寺丸柿から受けた恩恵を忘れてはいけないと、地域の人々の熱意と努力により、平成7(1995)年に「柿生禅寺丸柿保存会」が結成され、現在、柿の木の保存やワインづくりを行うなど、禅寺丸柿の魅力と価値を後世に伝えていく活動を行っています。

建保 2 (1214)年	王禅寺の山中で発見
慶安 元 (1648)年頃	江戸に出荷され名声を得る
明治 42 (1909)年	禅寺丸柿を天皇陛下に献上
昭和 59 (1984)年	県名木百選に指定
平成 7 (1995)年	柿生禅寺丸柿保存会を設立
平成 9 (1997)年	禅寺丸柿ワインの販売を開始
平成 19 (2007)年	国の登録記念物に指定
平成 24 (2012)年	区制30周年記念事業として「区の木」に制定 10月21日「禅寺丸柿サミット」を開催